

2026年5月28日
学校法人グロービス経営大学院

ニュースリリース

グロービス経営大学院、ソコラボに出資 手書きの絵をAIで商品化するビジネスモデルを評価して、MBA生の起業コンテスト「G-CHALLENGE 2024」大賞受賞後、出資へ

グロービス経営大学院大学（東京都千代田区、学長：堀義人、以下 グロービス経営大学院）は、手描きイラストをAIでキャラクター化し、グッズとして販売する「Charaxy（キャラクシー）」を中心とした、AIデザインから販売までの、ものづくりおよびユーザー間コミュニケーションが可能なプラットフォームを構築するソコラボ株式会社（静岡県浜松市、代表取締役：奈良晃寛、以下ソコラボ）へ出資したことをお知らせします。

ソコラボは、2025年2月にグロービス経営大学院が主催の在校生・卒業生の起業を支援するビジネスプランコンテスト「GLOBIS Venture Challenge (G-CHALLENGE) 2024」で大賞を受賞しています。

グロービス経営大学院
Graduate School of Management, GLOBIS University

創作活動に

新たな体験価値を生み出す

ソコラボ株式会社に出資

■ソコラボ 事業概要 (<https://charaxy.ai/>)

ソコラボは、「創るを解き放て」をミッションに掲げ、ものづくり及びユーザー間コミュニケーションが可能なプラットフォームを構築するスタートアップです。手描きイラストをAIでキャラクター化し、グッズとして販売する「Charaxy -Character Maker- (キャラクシーキャラクターメーカー)」は、継続的にユーザーが増加し、支持を広げています。

今後は、「Charaxy -Character Maker-」に子どものアート作品のデジタル保存アルバム・グッズ制作サービスが追加されます。さらに個人および法人向けのノベルティ販売・オリジナルグッズ体験サービス「Charaxy -Fast Novelty- (キャラクシーファストノベルティ)」およびIP管理システムの運用を開始。STEAM教育に関心のある子どもとその家族、10代・20代の若者、思い出をグッズにしたい大人、そして法人をターゲットに新たな体験価値を提供していきます。

Charaxy

プロデザイナー品質のオリジナルキャラクターやグッズを
AI生成、その場で楽しめる体験プラットフォーム



手描きの絵や写真をプロが加工したようなデザインのキャラクターやグッズとして販売・購入が可能

■G-CHALLENGE ファンドからの出資の背景

G-CHALLENGE ファンドは、以下の点においてソコラボを高く評価し、出資を決定いたしました。グローバル経営大学院は今回の出資を機に、同社の事業成長を支援してまいります。

1. デザイン×AI×IPの独自のビジネスモデル

生成AIの進化により、手軽なものづくりが可能な市場環境において、ユーザーのイラストや写真をグッズ化し、IP管理をシステム化するという独自のビジネスモデルを構築し、競合優位性を築いています。

2. 代表取締役 奈良氏の経歴と実行力

代表取締役の奈良氏は、大企業での技術開発・事業化経験があり、ものづくりへの強い想いを持っています。また、実行力を活かしてユーザー数およびトラクションを急速に伸ばしています。

■メッセージ



井上 陽介

G-CHALLENGE 2024 審査員長

グロービス経営大学院は「テクノバート*1時代の世界 No.1MBA」を目指して MBA プログラムを進化させ続けることで、テクノロジーを自在に活かせるイノベーション人材を輩出していきたいと考えています。弊学が主催したビジネスプランコンテスト「G-CHALLENGE 2024」で、大賞を受賞したソコラボ株式会社は、自分のアイデアをカタチにしたいというユーザーニーズに寄り添ったプラットフォームを構築している点を高く評価し出資を決めました。さらなる成長を期待しています。

*1 テクノバート：テクノロジーとイノベーションを組み合わせたグロービスの造語。



奈良 晃寛氏

ソコラボ 代表取締役（グロービス経営大学院 2024 年卒業）

「ものづくりを通して人間の可能性を解放したい」「イメージを美しく形にできるツールを世の中に提供して、子どもから大人まで誰でも自分のブランドをもてる世界を実現したい」そんな想いを持って走り続けています。今回、グロービス経営大学院から出資いただくこととなり、ワクワクしているとともに、加速度的成長への意思がさらに強固になりました。成長に向け、すでに多くの施策を仕込んでいます。世界一の想像クリエーションカンパニーを目指してまいります。

プロフィール

山梨県大月市出身、都留高等学校卒業。2007 年名古屋大学工学部機械航空工学科卒業後、名古屋大学工学研究科マイクロナノ工学専攻に進み 2009 年卒業。同年ヤマハ株式会社に入社し、ヤマハファイナテック株式会社へ出向。超音波カメラ「ULTRASONICA®」をゼロから開発し、事業化した功績を持つ。グロービス経営大学院 2024 年卒業。2024 年に独立し、ソコラボ株式会社代表取締役 CEO に就任。

■G-CHALLENGE 概要

G-CHALLENGE は、起業を目指す多くの在校生・卒業生にビジネスプランを競う場を提供し、立ち上げ資金を支援することで、より多くの起業を促すものです。加えて、その企業が将来的にメガベンチャーへ成長する足掛かりをグロービス・コミュニティから得られることを目的としています。出資にあたっては、学校法人グロービス経営大学院と株式会社グロービスがファンドを組成。受賞者は最大1,000万円の出資を受けられる機会を得ます。審査基準は、ビジネスプランの市場性、競争優位性、実現可能性、収益性が見込まれることに加えて、社会性や経営メンバーの意志や志などグロービスの教育理念に即しているかを重視します。第1回から2025年度の第13回までに合計509チームがエントリーし、多くのグロービス生が新たな未来への一步を踏みだしてきました。今回は、47チームが、起業に関する在学中の学びや、卒業後も続く起業支援の仕組みを活用してエントリー。最終選考に進んだのは8チームで、うち1チームは英語MBAプログラム卒業生によるチームでした。

■グロービスの「創造の生態系」～学生・卒業生への起業サポート体制～

グロービスグループ全体で、「G-INCUBATE」「G-CHALLENGE」「G-STARTUP」「G-GROWTH」を通じた起業支援、スタートアップ企業の事業開発・成長支援を展開、「創造の生態系」構築などを精力的に推進しています。

・「創造」系科目、研究・起業プロジェクト、起業家ネットワーク

グロービス経営大学院では、「ベンチャー・マネジメント」「ベンチャー戦略プランニング」など、ベンチャー企業の成功事例から学ぶ「創造」系の科目や、「G-CHALLENGE」への挑戦を目標に学生の起業活動を支援する半年間に及ぶ研究・起業プロジェクト「G-INCUBATE」を提供。また、起業準備中の方へのメンタリングの実施、新規事業の実行支援など、在学生だけではなく、卒業生へも、起業支援のための様々な仕組みを提供しています。さらに4,700人程度の在校生・卒業生が在籍する学校公認クラブ活動「GEC(グロービス・アントレプレナーズ・クラブ)」では、起業を志す多くのメンバーが交流しています。

・在校生・卒業生起業のベンチャー企業への投資プログラム「G-GROWTH」

2018年10月には、在校生または卒業生が起業したベンチャー企業を対象とする投資プログラム「GLOBIS Alumni Growth Investment(通称:G-GROWTH)」を開始しました。

・アクセラレータープログラム「G-STARTUP」

グロービスでは、ユニコーン企業を100社輩出するプラットフォームの構築を目指し、シード期の起業家を対象とするアクセラレータープログラム「G-STARTUP」を2019年4月に開始。将来的に日本を代表するユニコーン企業へ成長することが期待されるスタートアップを採択し、成功した起業家やスタートアップ支援の専門家などによる講義を実施。メンターには、グロービス・キャピタル・パートナーズの現役ベンチャー・キャピタリストも参画し伴走することで、プロダクト開発・事業開発を支援しています。

・インキュベーションオフィス「G-SQUARE」

「G-SQUARE」は、グロービスが住友不動産に企画・運営協力しているスタートアップのためのインキュベーションオフィスです。法人登記可能な住所に加え、住友不動産の広範なネットワークを活用したビジネスマッチング機会を入居者に提供し、スタートアップの成長を支援しています。またビジネスとイノベーションが交差する虎ノ門という利便性の高い立地に拠点を置き、起業家同士の交流を促進するイベントなどを通じて、継続的な支援とコミュニティづくりを進めています。

参考：

起業家を育てる「創造の生態系」とは？～3つのプログラムによる起業家支援～

<https://mba.globis.ac.jp/knowledge/detail-23805.html>

◆グロービス経営大学院大学

([日本語プログラム](#) | [英語プログラム](#))

グロービス経営大学院大学は、2006年の開学以来「能力開発」「人的ネットワークの構築」「志の醸成」を教育理念に掲げ、ビジネスの創造や社会の変革に挑戦する高い志を持ったリーダー輩出のために尽力しています。国内では東京・大阪・名古屋・福岡・オンラインの5キャンパスおよび仙台・水戸・横浜の特設キャンパスを開設。さらに海外ではシンガポール・バンコク・サンフランシスコ・ブリュッセル・マニラ・ジャカルタに開講拠点があります。2006年開学当初78名だった入学者数は、2026年4月には日本語MBAプログラムで1,089名に達しました。在校生・卒業生は合計1万4,000人を超え、日本最大のビジネススクール*に成長を遂げています。英語MBAプログラムは、パートタイム&オンラインMBAプログラム、フルタイムMBAプログラムを展開し、世界各国から多様な学生が集まっています。グロービス経営大学院は、今後も創造と変革を担うビジネスリーダーを育成し、テクノロジー時代の世界No.1MBAを目指していきます。

*参考:文部科学省「令和7年度専門職大学院一覧」

グロービス経営大学院 体験クラス&説明会

グロービス経営大学院は、本科(MBA)への進学を検討している方、進学を視野に単科で1科目から学び始めたい方向けに、体験クラス&説明会を全国の拠点、およびオンラインで開催しています。

詳細はこちら: <https://mba.globis.ac.jp/trial-class/>

日程の合わない方、過去に「体験クラス&説明会」に参加済みの方、グロービスでの受講経験をお持ちの方は、[個別相談](#)をご利用ください。

◆グロービス (<https://globis.co.jp>)

グロービスは1992年の設立以来、「経営に関するヒト・カネ・チエの生態系を創り、社会の創造と変革を行う」ことをビジョンに掲げ、各種事業を展開してまいりました。「ヒト」の面では、グロービス経営大学院に加え、スクール型研修や集合研修など法人向け人材育成サービスを展開するグロービス・コーポレート・エデュケーション、eラーニングや定額制動画学習サービス「GLOBIS 学び放題」などを提供するグロービス・デジタル・プラットフォームにより、リーダーの育成を推進しています。「カネ」の面では、ベンチャー企業への投資・育成を行うベンチャー・キャピタル「グロービス・キャピタル・パートナーズ」を運営、「チエ」の面では、出版事業ならびにオウンドメディア「GLOBIS 学び放題×知見録」を通じて知の発信を行っています。さらに社会における創造と変革を促進するため、一般社団法人G1によるカンファレンス運営、一般財団法人KIBOWによる震災復興支援および社会的インパクト投資などの活動を展開しています。

グロービス:

学校法人 グロービス経営大学院

・日本語(東京、大阪、名古屋、福岡、オンライン) / 英語(東京、オンライン)

株式会社 グロービス

- ・グロービス・エグゼクティブ・スクール
- ・グロービス・マネジメント・スクール
- ・企業研修
- ・出版／電子出版
- ・「GLOBIS 学び放題×知見録」／「GLOBIS Insights」
- ・「GLOBIS 学び放題」／「GLOBIS Unlimited」

グロービス・キャピタル・パートナーズ株式会社

顧彼思(上海)企業管理諮詢有限公司

GLOBIS Asia Pacific Pte. Ltd.

GLOBIS Asia Campus Pte. Ltd.

GLOBIS Thailand Co., Ltd.

GLOBIS USA, Inc.

GLOBIS Europe BV

GLOBIS Manila Inc.

PT. GLOBIS Indonesia Hub

その他の活動:

- ・一般社団法人 G1
- ・一般財団法人 KIBOW
- ・株式会社茨城ロボッツ・スポーツエンターテインメント
- ・株式会社 LuckyFM 茨城放送

【取材に関するお問い合わせ先】

グロービス 広報室 土橋涼、杉田友紀

E-MAIL: pr-info@globis.com